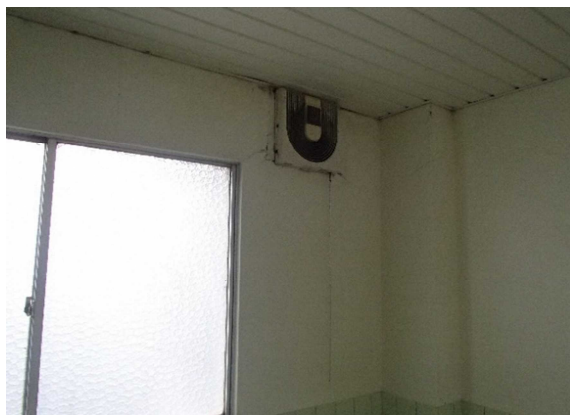


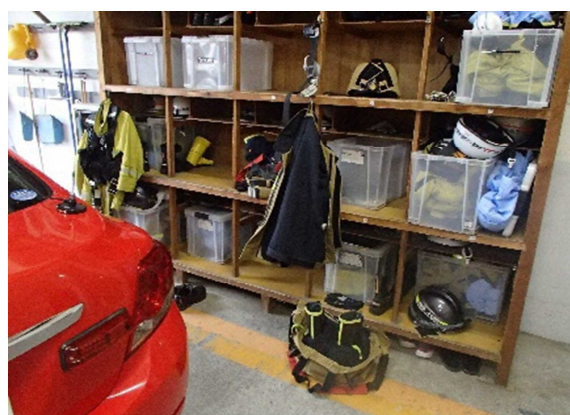
# 小山消防署庁舎 建設基本設計【概要版】

## 小山消防署庁舎 新庁舎建設への検討・経緯

現在の小山消防署庁舎は、昭和47年4月1日に小山分署として建設され、増築、耐震補強工事をしながら維持管理に努めているものの、建築から50年を経過し老朽化が進み、敷地が狭く、感染予防の観点からも勤務環境は良好ではない。



△ひび割れが生じている庁舎内壁



△収納スペースがなく、車庫内に置かれた防火衣等の装備品



△車両の大型化により間隔がせまくなってしまった車庫



△敷地狭隘なため、有効な訓練ができない

平成29年12月の小山町役場庁議において、小山消防署の建て替えを見据え、庁内に『小山消防署あり方検討会』を設置して、現庁舎の問題点、新庁舎の基本方針、新庁舎に求められる機能、規模等について議論し、平成30年12月に町長へ報告している。

令和3年3月に第1回小山消防署新庁舎建設検討会及び用地作業部会を開催し、自然災害のリスクや管轄地域への出動時間等、様々な観点で検討を行い、現在の建設用地が決定されている。また、令和5年1月に基本計画を策定し、新庁舎整備に求める規模・機能等の検討を行っている。

## 建物計画基本コンセプト

★基本方針 ～ 消防力を最大限に発揮でき、災害に強く経済性に配慮した庁舎 ～

## ★基本コンセプト

### 1 緊急時に**迅速に** **出動**ができ、**大規模** **災害時**にも**機能** **継続**できる施 設

小山消防署は、地域の防災拠点として災害等の緊急時に、1分1秒でも早く現場へ向かうことが重要である。いつ発生するかわからない災害や事故に、いかなる時でも瞬時に対応できる施設計画が重要となる。

- ① 建物内から道路へ出るまでの連続した出動動線を考慮し、緊急時に建物のどこにいても迅速に出動できる施設
- ② 大規模災害時にも、建物に損傷がなく機能継続できる十分な耐震性の確保
- ③ 消防車両の迅速かつ安全な出動が出来る道路乗入れ口の整備
- ④ 非常時に機能を維持するために、自家給油所、自家発電設備を整備

### 2 防災拠点としての機能を最大限発揮するため、日々の車両や装備の整備、**防災能力の維持向上**が図れる施設

消防署員は、緊急時の災害対応だけでなく、平時はいざというときに備え車両や装備のメンテナンスや、あらゆる災害を想定した訓練を行うことが必要となる。車庫や装備保管スペースの確保、訓練スペース・施設の整備が重要となる。

- ① 整備スペースを確保した車庫の計画
- ② 消防装備の整備や保管が出来る作業室や倉庫の計画
- ③ 消防訓練機能を備えた訓練棟の計画、広さを確保した訓練スペースの整備

### 3 町民への講習会や研修を行う環境を整備し、**地域全体の防災能力**を高められる施設

消防署は、防災拠点として町民への防災への啓発や情報発信を行う施設となる。講習や研修を行えるスペース・設備の整備や、町民が利用しやすい施設整備が重要となる。

- ① 講習や研修だけでなく、会議など多目的に対応できる空間の整備
- ② 一般来庁者が、安全に来庁できる駐車場や通路の整備
- ③ 掲示板、情報発信設備の整備

## 庁舎の整備計画

### ○用地の概要

計画地 静岡県駿東郡小山町棚頭字

外ノ原 542-2 外 5 筆

敷地面積 6,901.09 m<sup>2</sup>

用途地域等 市街化調整区域

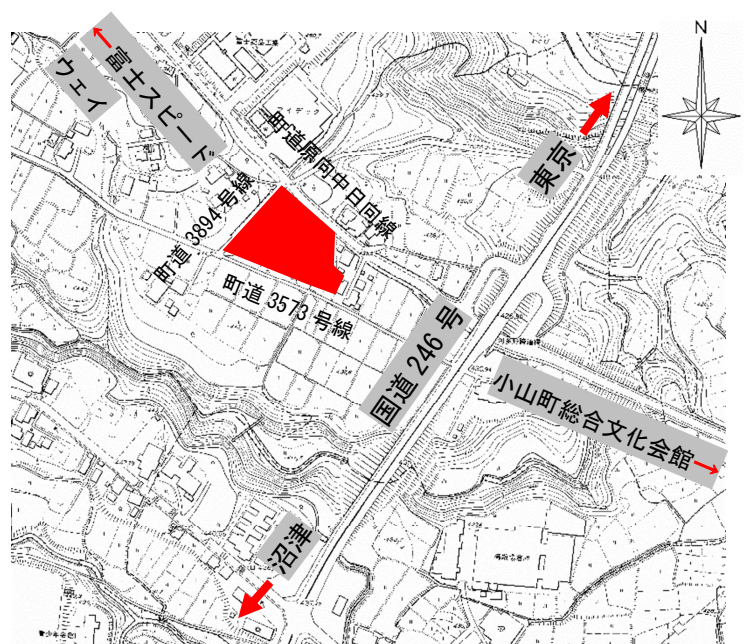
建ぺい率 60% 容積率 200%

### 取付道路

北側 町道原向中日向線 幅員 12m  
町の幹線道路で、都市計画道路  
原向中日向線 (25m) に指定

西側 町道 3894 号線 幅員 6.0m

南側 町道 3573 号線 幅員 2.9m



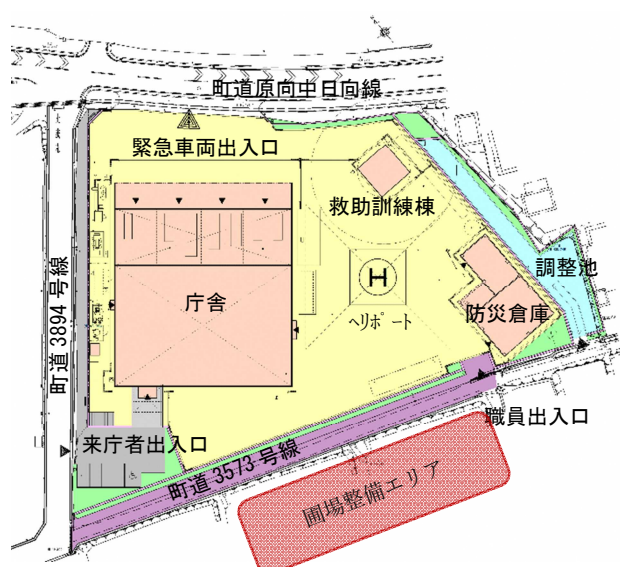
## ○配置計画

建物配置は、緊急車両の出入りを安全に行える場所を第一優先に考える。緊急車両の出入口は主要道路の町道原向中日向線側とし、接道部分がゆるいカーブの外側になるため、見通しの良い場所から出入りできる。緊急車両が複数台一斉に出動できるよう間口を十分確保する計画とした。

署員と来客者は、緊急車両の出動に影響が無いように、別の出入口を設け動線を分けるため、本事業に合わせて町道 3573 号線の道路拡幅・舗装を行うが、この町道の対側において圃場整備が計画されており、事業調整が必要となる。

また、緊急時の対応が迅速に行えること、平時は緊急時に備えた訓練、資機材整備が行いやすいことを優先した計画とした。日々の訓練に支障がなく、緊急時にドクターヘリが着陸できる広いスペースを確保した。

庁舎は、緊急車両出入口から速やかに出動できる配置とし、救助訓練棟は地上と一体的に訓練ができる敷地北東側に、防災倉庫は平時の利用が少ないことから職員入口付近とする。



## ○平面計画

必要諸室は機能ごとにまとめることで署員の連携がとりやすく建物全体がコンパクトになる。また、一般の来庁者と消防署員とのエリアが明確に分かれることで、施設管理が容易になる。日中、署員が事務室で一般来庁者の対応を行っているため、事務作業中の緊急出動を優先し、事務エリアと出動エリアが同じ 1 階に計画している。事務エリア・職員支援エリアからの緊急出動時の動線を最優先に考え、出動準備室を 1 階中央に配置している。

一般来庁者は 2 階からアクセスする事となるが、南西角に位置する階段、エレベーターを利用し 1 階に下りた際、分かり易い位置へ事務室を配置している。

出動・資機材保管エリアは、防火衣の着装を行う出動準備室、緊急車両の車庫を中心に速やかに移動できる平面計画としている。緊急車両への資機材の準備が容易に行えるように、保管庫・倉庫を車庫に隣接させた。

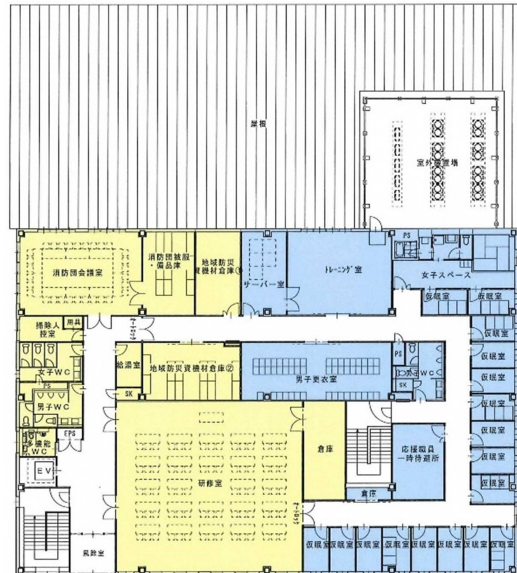
職員支援エリアには、食堂、仮眠室、トレーニング室、更衣室等を集約している。2 階の諸室は中央の階段を中心に配置し、速やかに出動準備室への移動ができるようにしている。

事務エリアには、事務室、署長室、書庫等を 1 階に集約している。一般来庁者への対応が行い易く、緊急時の出動が容易な位置に配置する事とした。

研修エリアには、80 名程度を収容できる研修室の外、消防団会議室を計画している。一般来庁者は、2 階より所要諸室へアプローチし易い位置とした。



1階平面図

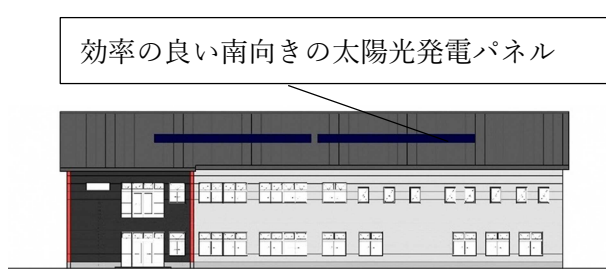


2階平面図

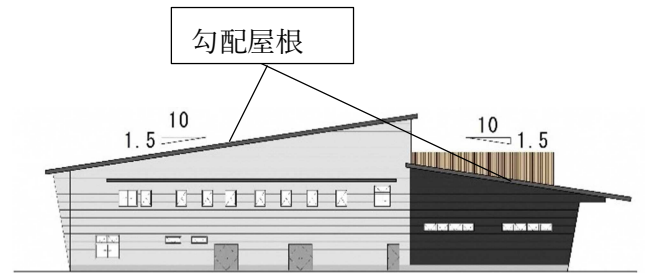
- : 出動・資器材  
保管エリア
- : 職員支援  
エリア
- : 事務エリア
- : 研修エリア

### ○立面計画

建物の屋根は、構造が複雑にならない片流れ屋根とすることで、シンプルでモダンなデザインの親しみやすい建物としている。



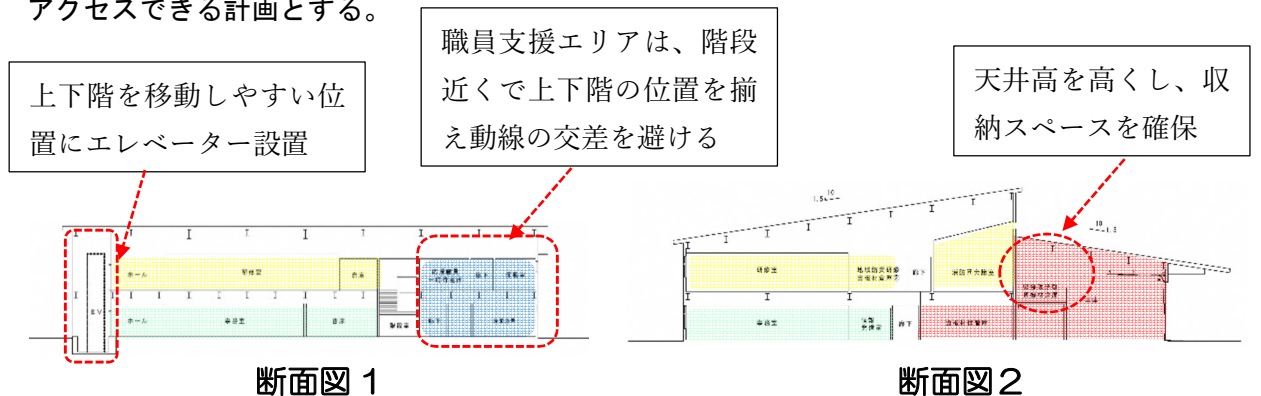
南立面図



東立面図

### ○断面計画

庁舎1階レベルは、外部とのレベル差を少なくすることで、利用者や消防車両が安全に出入りできる計画としている。2階レベルについては、町道3894号線沿いに設けた外部来庁者駐車場とレベルを合わせる事で、一般来庁者が2階から直接出入りもできるようにし、車いす利用者にも安全にアクセスできる計画とする。



断面図 1

断面図 2

## ○内外装、省エネ計画

屋根はメンテナンス性を考慮し、金属板による勾配屋根を採用する。外壁は耐久性、メンテナンス性を考慮し、中空押出成形セメント板に塗装仕上げとする。内部の適所に、暖かみのある木質系の内装材を採用し、SDGs の観点から環境負荷の低減を図る。

建物の省エネ性能を向上させるため、建物外周部外壁及び屋根には断熱材を設置し、エネルギーロスが大きい窓には Low-E 複層ガラスを採用する。設備機器は、省エネ性能の高い空調機に加え空調換気扇を設置する事により、空調の効率化を図る。また、節水型の衛生設備機器、LED 照明器具を採用する。

## 事業の計画

### ○事業概算

庁舎施設の建築工事、造成工事の費用に係わるイニシャルコストを試算した。

(右表：概算事業費:消費税込)

【概算事業費】

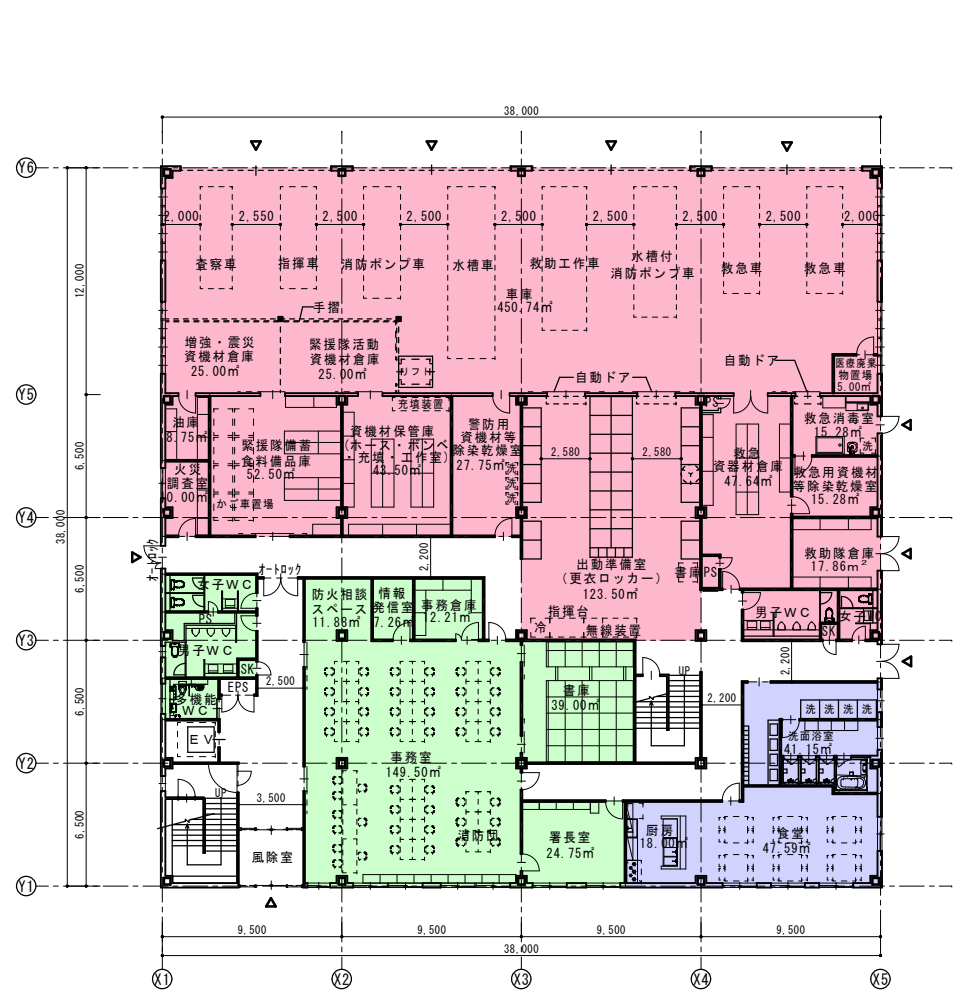
種 別	摘 要	金 額
1 建築工事	庁舎 S-2                    2,596.00 m <sup>2</sup>	1,150 百万円
	訓練棟 RC 一部 S-4    228.11 m <sup>2</sup>	175 百万円
	防災倉庫 S-1            262.50 m <sup>2</sup>	130 百万円
	付帯工事(自家給油所等)	149 百万円
	小 計	1,604 百万円
2 造成工事	造成、敷地周囲擁壁、雨水排水、調整池、舗装、植栽、外構	680 百万円
3 設計費、 工事監理費	実施設計、造成設計、工事監理	146 百万円
B 事業費		2,430 百万円

### ○事業スケジュール

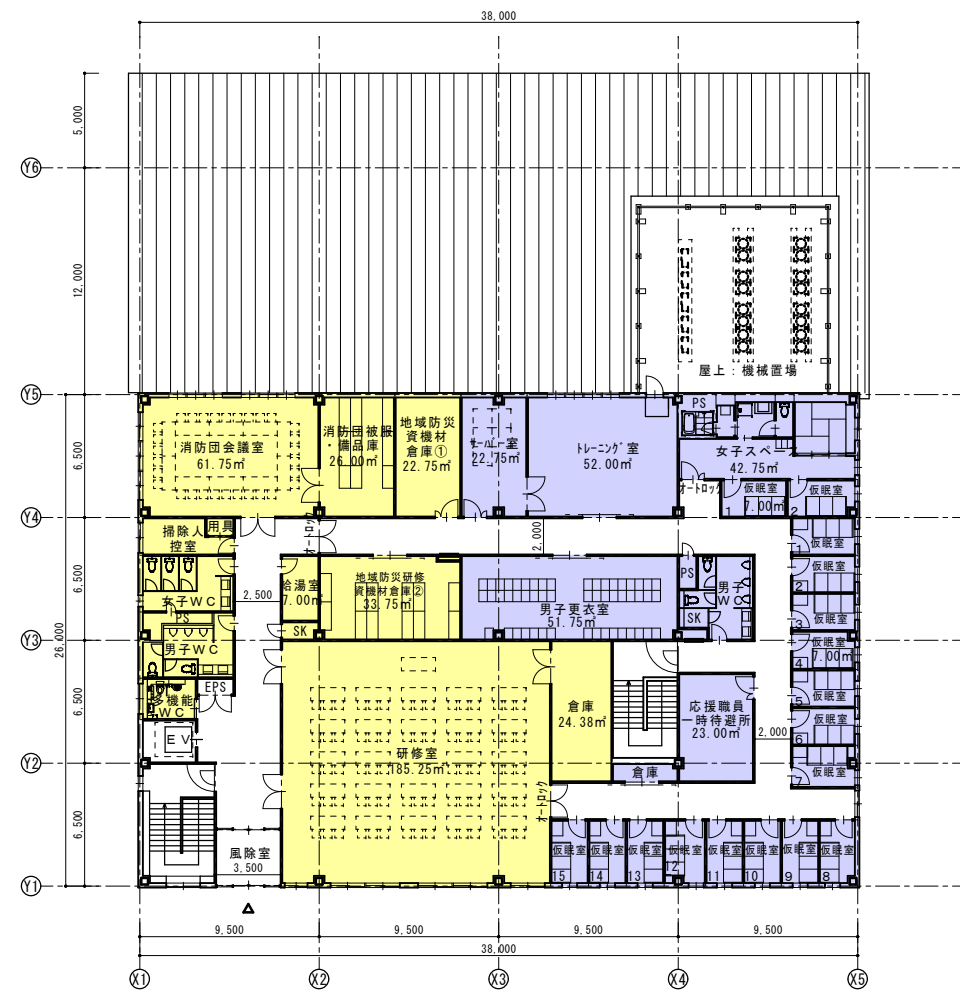
事業スケジュールは、社会情勢や経済情勢により、資材の調達等に時間が掛かることが想定される。造成工事は、建物工事に先行し調整池、擁壁等の設置を行い、事業全体の工期短縮を図る。

		令和5年度				令和6年度				令和7年度				令和8年度				
実施設計業務	建物設計																	
	造成設計																	
建設工事	庁舎建設工事																	
	造成工事																	
その他	事業者選定																	
	検査																	



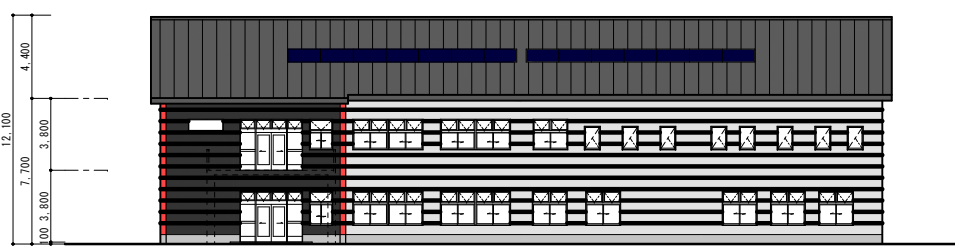


消防署庁舎 1階平面図 S=1/400

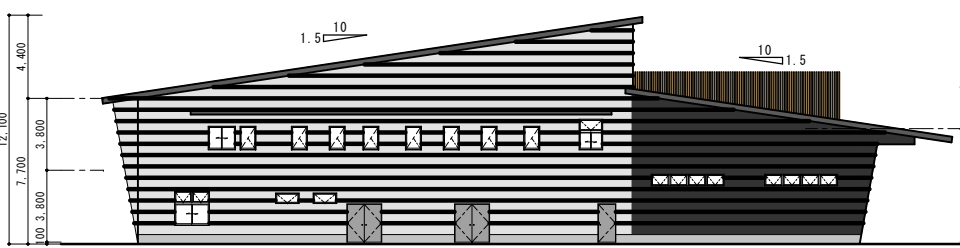


消防署庁舎 2階平面図 S=1/400

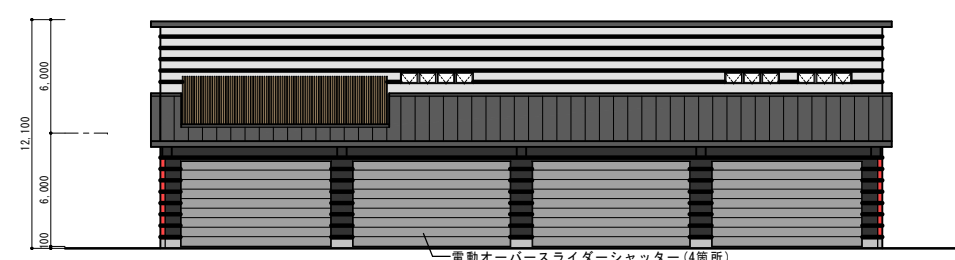
- : 事務エリア
- : 職員支援エリア
- : 出動・資機材保管エリア
- : 団・研修エリア



消防署庁舎 南立面図 S=1/400



消防署庁舎 東立面図 S=1/400



消防署庁舎 北立面図 S=1/400



消防署庁舎 西立面図 S=1/400

構造	鉄骨造 2階建て	
建築面積	1,600.70㎡	
床面積	2階	1,038.00㎡
	1階	1,558.00㎡
延床面積	2,596.00㎡	